

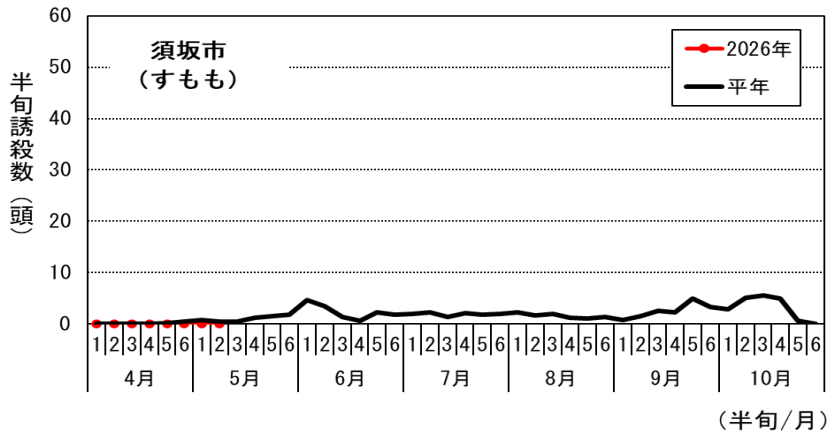
チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長 [令和8年(2026年)調査]

病害虫防除部

【発生生態と防除のポイント】

- ・年1～2回発生する。
- ・落葉下で越冬し、成虫は山林から果樹園に飛来する。
- ・果樹園へ飛来する時期に殺虫剤を散布する。
- ・次々に新たな個体が飛来するので、発生が多い場合は5～7日間隔で、2～3回散布する必要がある。

○須坂市（病害虫防除部）



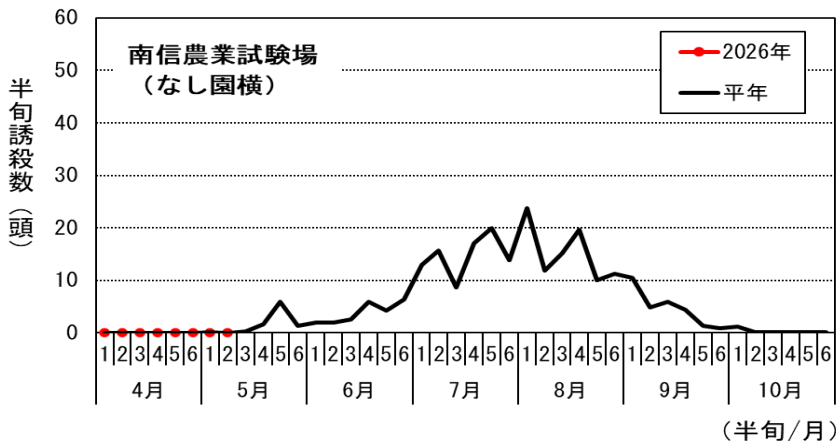
【調査地点】(標高370m すももほ場)

・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

・5月第1半旬時点で、誘殺は記録されていない。

○高森町（県予察ほ [南信農業試験場] ）



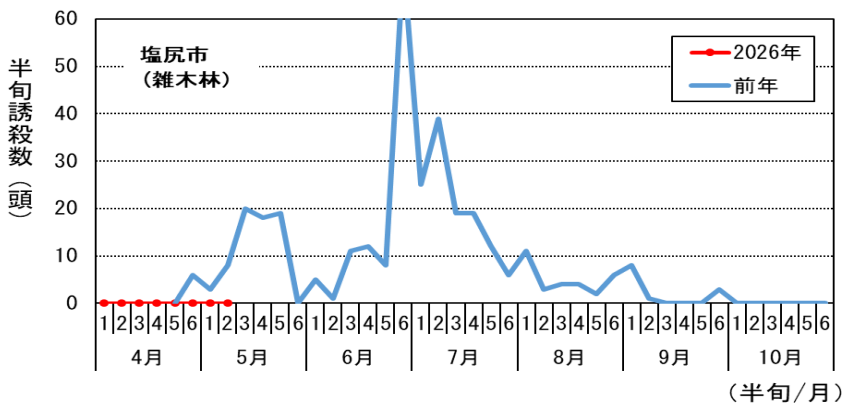
【調査地点】(標高560m なし園隣接地)

・平年は2016年～2025年の平均値。

【コメント】

・5月第1半旬時点で誘殺は記録されていない

○塩尻市（病害虫防除部）



【調査地点】(標高560m 雑木林)

・2025年から設置のため、平年値なし
・雑木林内に設置

【コメント】

・雑木林に設置してある本地点では、前年は4月下旬にはすでに誘殺が記録され、5月上旬は5頭前後の誘殺があった。本年はまだ記録されていない。